

2. 環境指標の森

(4) 筑紫歴史の森

1) 筑紫神社

- 筑紫神社は平安時代にさかのぼる歴史のある市内最古の神社です。
- 祭られている神は五十猛命いそたけのみことといわれています。
- この神社の行事「粥卜」かゆらは市指定の無形民俗文化財となっています。



筑紫神社一帯で見られる動物

- 【哺乳類】 アカネズミ、アブラコウモリ、コウベモグラ、ハツカネズミ、ムササビ
- 【爬虫類】 トカゲ、アカミミガメ、ヒバカリ、マムシ、ヤモリ
- 【両生類】 アマガエル、イモリ、ヌマガエル、ヒキガエル
- 【昆虫類】 オオゴキブリ、クマゼミ、アブラゼミ、カブトムシ、ユミアシゴミムシダマシ、サツマニシキ、アオシジアゲハ、クロヒカゲ
- 【鳥類】
(留鳥) アオゲラ、キセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ
(夏鳥) ツバメ、ヤブサメ
(冬鳥) シロハラ、ツグミ、カシラダカ、アオジ、クロジ、アトリ ...など

筑紫神社で見られる植物

- 【木本類】 イチイガシ、アラカシ、オガタマノキ、クスノキ、イロハモミジ ...など

■コースガイド

- 場所** ◆筑紫野市原田にあります。
- アクセス** ◆西鉄バス筑紫神社前バス停から1分、JR原田駅から北へ徒歩10分、西鉄筑紫駅から南西へ徒歩20分。
- 施設** ◆神社には社殿、社務所、駐車場、トイレがあります。
- 観察情報** ◆筑紫多目的集会施設による自然観察講座が実施されています。
- (筑紫多目的集会施設 TEL 092-926-2913)



筑紫神社

- ひとこと** ◆区画整理された住宅街の中にある神社で大木が残っています。野鳥が数多く生息しており、人々の心に潤いと安らぎを与えてくれます。

■自然観察

地形・地質

筑紫神社付近は、炭化樹木群を含んだ阿蘇山の噴火による火砕流の堆積物によってつくられた丘陵地形が分布しています。炭化樹木群は梢が西を向いており、約9万年前に火砕流が当時の森林をなぎ倒して焼いた状況を示しています。これらの丘陵は火砕流の堆積前の花崗岩質の丘陵の上にてきた新しい地形で、火砕流についての多様な地学情報を含んでおり、学術的にも重要な地域です。

植物

境内には、ツブラジイ、イチイガシ、クスノキ、ヤブツバキなど照葉樹を代表する老巨木が林立し、荘厳さをかもし出しています。拝殿広場の右側にオガタマノキの老木が観察できます。招霊の意味をもつ、香りのあるこの木は、古来より神事に用いられてきました。この社は樹木が多いことから初夏の新緑、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の静寂など四季折々の散策をお勧めしたいところです。



オガタマノキ

動物

筑紫神社の森には地面に多くの穴があります。これはネズミやモグラ（哺乳類）が掘ったもので、穴の中にすんでいます。夜になると、アブラコウモリ（哺乳類）が飛び回っています。ムササビ（哺乳類）が見られることもあります。アオジやシロハラ（鳥類）が藪の中で鳴く冬、廃材の下にはイモリ（両生類）、朽ち木の下ではカブトムシ（昆虫類）の幼虫が見られることがあります。朽ち木の中にはオオゴキブリ（昆虫類）がいます。このゴキブリは森林で生活しており、住宅地では見られません。

2. 環境指標の森

(4) 筑紫歴史の森

2) 五郎山古墳公園

●約1400年前の五郎山古墳の内部壁画は、赤、黒、緑の三色で、当時の様子が生き生きと描かれています。



ツマグロヒョウモン



アゲハ (ナミアゲハ)



ナガサキアゲハ



ベニシジミ



五郎山古墳公園で見られる植物
【木本類】 イヌマキ、ツブラジイ、コナラ、アオモジ
【草本類】 ニオイタチツボスミレ ...など

五郎山古墳公園一帯で見られる動物

- 【哺乳類】 コウベモグラ、アカネズミ、ハツカネズミ
 - 【爬虫類】 シマヘビ、カナヘビ、トカゲ
 - 【両生類】 アマガエル
 - 【昆虫類】 オンパッター、ショウリョウバッタ、コクワガタ、アオカナブン、カブトムシ、ナガサキアゲハ、アゲハ (ナミアゲハ)、ベニシジミ、ウラギンシジミ、ツマグロヒョウモン
 - 【鳥類】
 - 〈留鳥〉 アオゲラ、キジバト、キセキレイ、セグロセキレイ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、イカル
 - 〈夏鳥〉 ツバメ
 - 〈冬鳥〉 シロハラ、ツグミ、アオジ、アトリ
- ...など

■コースガイド

場所

◆筑紫野市原田にあり、筑紫神社の少し南に位置しています。

アクセス

◆JR原田駅から東へ徒歩15分、西鉄筑紫駅から南へ徒歩30分。

施設

◆「五郎山古墳館」には石室の模型が展示されています。筑紫南コミュニティセンターに駐車場、五郎山古墳公園に休憩所、トイレがあります。



陶板の五郎山古墳壁画（西側登り口）

観察情報

◆筑紫南コミュニティセンターによる自然観察講座が実施されています。（筑紫南コミュニティセンター TEL 092-919-8400）

ひとこと

◆自然の植物のほか、サクラなどの花々も多数植えてあるので、それぞれの季節の植物を楽しむことができます。

■自然観察

植物

ツブラジイやイヌマキ、アオモジなどが観察できます。特にアオモジの黄色い花は、一度は見ておきたいものです。家族向けの散策コースです。



アオモジ

動物

蝶が多種観察できるほか、コクワガタやカブトムシ（昆虫類）も見られます。ただ残念なことに、以前は多数見られたクワガタの仲間も最近ほとんどその姿を見ません。竹林の中にはアカネズミやハツカネズミ（哺乳類）がすんでいます。

歴史

◆五郎山古墳

五郎山古墳は昭和24年（1949）年に国の史跡に指定されました。内部の石壁に人物・動物・船などが描かれており、絵全体が西に向けた動きをしています。亡き人を追憶し冥福を祈る表現でしょうか。この古墳は、筑前・筑後・肥前三国の国境に君臨した豪族を葬ったものと推定されています。五郎山公園登り口の壁に、陶板によって壁画が再現されています。



五郎山古墳

◆恩山寺

公園の登り口にある礼所です。拝み寺ともいわれています。